

ふくい街角景気速報

(令和5年1月分)

調査期間 令和5年1月20日～27日 (回答率：97%)

概況

景気の現状判断DIは41.2となり、前月と比べ9.6ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは44.3となり、前月と比べ3.0ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 41.2 (前月比 ▲9.6)

○家計動向関連では、前月に比べ 14.6 ポイント低下した。

○企業動向関連では、前月に比べ 8.3 ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 6.2 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○雪とインフルエンザなどが影響。(飲食関連)

○車両関連製品の在庫調整による売り上げ減少。電力を中心とするエネルギー費用の増加により収益減少。(繊維関連)

■景気の先行き判断DI 44.3 (前月比 +3.0)

○家計動向関連では、前月に比べ 6.9 ポイント上昇した。

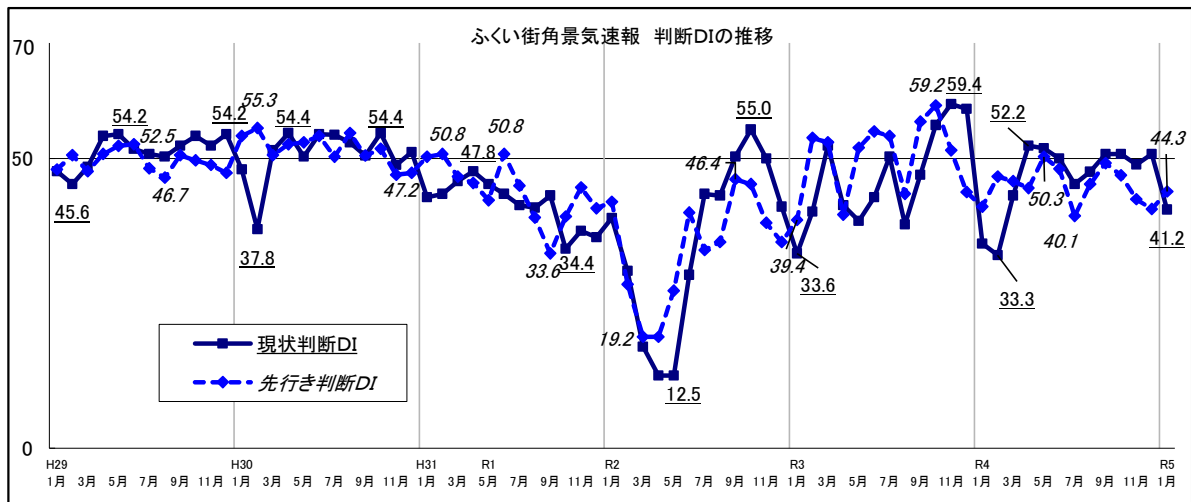
○企業動向関連では、前月に比べ 3.3 ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 6.2 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○生活必需品などの値上げが続いており、節約志向が引き続き高いままとされる。(スーパー)

○製造業では販売価格は上昇傾向だが、価格転嫁が不十分な状況。原材料価格の高騰による仕入れコストの上昇が引き続き企業の重荷になる。1月以降も食品の値上げが相次ぐ予定。物価上昇による個人消費への影響などに注視が必要。(銀行等金融関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R4 8	9	10	11	12	R5 1	(前月差)
合計		47.7	50.8	50.8	49.0	50.8	41.2	▲9.6
家計動向関連		45.9	53.7	53.1	51.0	53.9	39.3	▲14.6
小売		40.3	48.3	46.2	45.3	47.4	39.5	▲7.9
飲食		50.0	62.5	70.8	60.0	75.0	33.3	▲41.7
サービス		58.3	63.6	65.0	62.5	61.4	41.7	▲19.7
企業動向関連		49.3	45.0	48.6	47.9	50.0	41.7	▲8.3
製造業		47.0	46.0	49.0	48.1	53.0	41.3	▲11.7
非製造業		55.0	42.5	47.5	47.5	42.5	42.5	+0.0
雇用関連		50.0	56.3	47.7	43.8	41.7	47.9	+6.2

○回答別構成比

	年 月	R4 8	9	10	11	12	R5 1	(前月差)
良くなっている		2.1%	3.2%	6.3%	7.2%	5.4%	0.0%	▲5.4
やや良くなっている		22.9%	22.3%	26.0%	16.5%	23.9%	14.4%	▲9.5
変わらない		43.8%	51.1%	35.4%	43.3%	41.3%	44.3%	+3.0
やや悪くなっている		26.0%	21.3%	29.2%	30.9%	27.2%	33.0%	+5.8
悪くなっている		5.2%	2.1%	3.1%	2.1%	2.2%	8.2%	+6.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R4 8	9	10	11	12	R5 1	(前月差)
合計		45.6	49.2	47.1	43.0	41.3	44.3	+3.0
家計動向関連		44.4	51.6	49.0	40.8	40.0	46.9	+6.9
小売		41.1	43.3	44.7	41.4	35.3	45.2	+9.9
飲食		54.2	62.5	62.5	50.0	60.0	45.8	▲14.2
サービス		47.9	68.2	55.0	35.4	43.2	52.1	+8.9
企業動向関連		47.1	45.7	44.4	44.4	43.6	40.3	▲3.3
製造業		46.0	45.0	43.3	45.2	43.0	40.4	▲2.6
非製造業		50.0	47.5	47.5	42.5	45.0	40.0	▲5.0
雇用関連		45.8	50.0	47.7	47.9	39.6	45.8	+6.2

○回答別構成比

	年 月	R4 8	9	10	11	12	R5 1	(前月差)
良くなる		1.0%	6.4%	2.1%	2.1%	2.2%	0.0%	▲2.2
やや良くなる		18.8%	20.2%	18.8%	14.4%	8.7%	20.6%	+11.9
変わらない		44.8%	42.6%	47.9%	45.4%	47.8%	41.2%	▲6.6
やや悪くなる		32.3%	25.5%	28.1%	29.9%	34.8%	33.0%	▲1.8
悪くなる		3.1%	5.3%	3.1%	8.2%	6.5%	5.2%	▲1.3

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
②やや良くなっている	家計動向	福井	スーパー	商品値上げやエネルギーコスト高騰などは高止まっているが、悪化傾向は収まりつつあり、個人消費が上向き傾向が見られるため。	
		福井	観光関係	法人の団体旅行問い合わせが増えてきたように感じるため。	
	企業動向	嶺南	化学・プラスチック関連	人の動きが出てきており、経済活動が活発になってきている。	
	雇用	嶺南	労働相談員	3カ月前より、労働相談の件数が減少していることや、県内の求人が休職を大幅に上回って推移していることから、改善が進んでいると判断する。	
③変わらない	家計動向	福井	商店街	コロナ問題も少し落ち着いた気運となっているが、物価高、仕入コストの上昇等で、足踏みとなっている。	
		福井	一般小売店	売上額や来店客数など、一進一退であり変化がない。物価高の影響も少なからず受けていると感じている。	
		坂井	百貨店、SC等	良い材料が見つからない。	
		嶺南	コンビニエンスストア	週末中心に流動ボリュームが戻っていない。	
		福井	観光関係	旅行支援事業も落ち着き、先行き含め売上げが伸びていないため。	
	企業動向	坂井	繊維関連	落ち着いてきている部分もあるが、原料の高騰等不安定な部分もあるため。	
		丹南	眼鏡関連	燃料費及び原材料費が高止まりしている。	
		福井	化学・プラスチック関連	原材料価格や資源価格の高止まりが続き、厳しい状況は変わらない。	
		嶺南	食料品製造関連	冬期で観光客が減少し、消費も減ると予想する。	
		福井	銀行等金融関連	コロナウイルス感染第8波の拡大が懸念された中でも行動制限のない年末年始となり、人流の増加を伴いながら対面型サービス(外食、宿泊サービス)を中心に持ち直しの動きが見られた。	
	雇用	丹南	労働相談員	相談内容に景気悪化を感じるものがない。	
		福井	学校就職担当者	物価上昇が景気に影響すると考えられるが、高卒求人に関しては影響は出ない。	
	④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	一般小売店	入店客が急に少なくなった。近い人でもコロナ感染や濃厚接触者が増えたためと思われる。
			福井	百貨店、SC等	企業や個人も同様にギフト商品の販売が減っており、様々な側面で経費の削減が多くなっているように思う。
福井			百貨店、SC等	正月が終わってから、急に物販(衣料・雑貨)を中心に売上減。消費マインドが下がっている。	
福井			スーパー	電気代の高騰などのコスト増で収益悪化。	
嶺南			飲食関連	人は動いているが、外食する人、飲み会などは減り、物価もじわじわと上がっていて景気が良くなってきたとは思えない。	
企業動向		奥越	繊維関連	車両関連製品の在庫調整による売上げ減少。電力を中心とするエネルギー費用の増加により収益減少。	
		福井	一般機械関連	国内市場の商談・受注は減少傾向。ただし、欧米市場の陰りなし。	
		丹南	電気機械関連	中国経済の低迷が見られること等により、先行きの不透明感も強まっているため。	
		丹南	建設・不動産関連	閑散期に入ったため。	
⑤悪くなっている	家計動向	福井	飲食関連	雪とインフルエンザなどが影響。	
	企業動向	福井	その他製造関連	材料費など値上げにつき、価格に転換している時期のため。	

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由		
②やや良くなる	家計 動向	嶺南	商店街	年度変わりで新生活が始まるので、関連業種には需要が出てくるとされる。		
		福井	百貨店、SC等	コロナ禍緩和により、帰省や旅行など人々に動きが出れば、消費も進むのではないかと。		
		福井	スーパー	春闘賃上げによる個人所得増加が見込まれるため。		
		福井	サービス業関連	自動車業界は、今後春の需要期の山を迎えるため、その効果でやや良くなるものと思う。		
		坂井	観光関係	コロナ感染者数は依然多いが、行動制限ができれば良くなっていくと思われる。		
③変わらない	家計 動向	嶺南	化学・プラスチック 関連	為替・原料価格の影響が良い方向に向かっているため。		
		福井	一般小売店	コロナの感染拡大の状況にもよるが、あまり大きく変化しないと予想している。季節が暖かくなるのと同時にアパレルの売上が伸びるのを期待しているが、まだまだ苦戦しそうな状況である。		
		福井	百貨店、SC等	やや回復するも、価格に対してシビアな状態は変わらないと考えられる。		
		福井	百貨店、SC等	物価高、電気代高騰でさらに消費が厳しくなる事が予想される。		
		坂井	スーパー	生活必需品などの値上げが続いており、節約志向が引き続き高いままとされる。		
	企業 動向	嶺南	飲食関連	景気にプラスになる材料が見当たらないため不明。		
		福井	一般機械関連	国内市場は半導体メーカーの動向次第。海外市場は今後緩やかに減少する可能性がある。		
		奥越	電気機械関連	受注見込みが上がってきていない。		
		福井	化学・プラスチック 関連	原材料価格や資源価格の高止まりは当面続くと見られ、消費行動は引き続き慎重になっていくものと思われる。		
		福井	建設・不動産関連	金利の上昇、物価の不安定等、良くなる要素がない。		
	雇用	嶺南	運輸関連	為替の動向で分からない。		
		福井	ジョブカフェ担当 者	物価高騰や円安、不安定な海外情勢の影響に加え、本県は新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行が懸念されることから急激な景気の回復が見込めないため。		
		④やや悪くなる	家計 動向	福井	一般小売店	物価高が続き、消費行動が慎重になっている。
				福井	百貨店、SC等	燃料高騰、物価高騰など景気回復の兆しが見えない。コロナ感染者も増大している。
				丹南	百貨店、SC等	電気料金の値上げ、物価高など家計を圧迫する要因が多く、出費を抑える傾向になるのではないかと予測から。
福井	スーパー			電気代の高騰などコスト増で収益悪化。		
企業 動向	丹南	繊維関連	企業物価の高騰継続。特に電気代の値上げにより更なる悪化が懸念される。			
	福井	銀行等金融関連	製造業では販売価格は上昇傾向だが、価格転嫁が不十分な状況。原材料価格の高騰による仕入れコストの上昇が引き続き企業の重荷になる。1月以降も食品の値上げが相次ぐ予定。物価上昇による個人消費への影響などに注視が必要。			
	丹南	建設・不動産関連	金利と物価の上昇が影響してくると思われるため。			
	福井	建設・不動産関連	物価高による支出を抑えるユーザーが増加すると予想している。			
⑤悪くなる	企業 動向	丹南	自治体労働政策 担当課	いろいろな物が値上がりしているが、賃金アップの話は今のところない。国からの雇用調整助成金を受けていた企業も多いが、助成金の額が徐々に減っていくので、厳しくなってくる企業もあるのではないかと心配している。		
		奥越	繊維関連	北陸電力の大幅な値上げ通達に対し、値上げが追い付かず、急速な悪化が決定している。		

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)